

磯に住む生き物の観察

3班



1.はじめに...

- ・磯を歩いていて出会える生き物なので、体の仕組みなどを詳しく知りたいと思ったから。

※はじめは磯で採集するつもりでしたが、海が荒れていたためにいけませんでした。



2. 方法

- 採集場所



- 解剖の手順

～サザエとマガキガイ～

ハンマーで殻を割って中身を取り出した。



～ヒザラガイ～

ひっくり返して、突っついた。

～ナマコ～

肛門からハサミで一直線にザクザクと切った。



3.結果

①軟体動物

(サザエ、マガキガイ、ヒザラガイ)

②棘皮動物

(ナマコ)



①軟体動物(サザエ)

- サザエ

☆雌雄の見分け方

上で渦を巻いている

生殖器の色で

見分ける。

※メス:緑 オス:白



軟体動物(マガキガイ)



軟体動物(ヒザラガイ)

☆ひっくり返して、突っついてみたら、ダンゴムシのようにまるくなった。



②棘皮動物(トラフナマコ)

- 観察できたのは、表皮、消化管、生殖器官、
キュビエ器官(←威嚇のため)の大きく分けて
4つでした。



☆表皮

触った感じは、
ヌメヌメ、ふわふわ
でした。

☆消化管

ちぎれやすく、
ゼリー状でした。

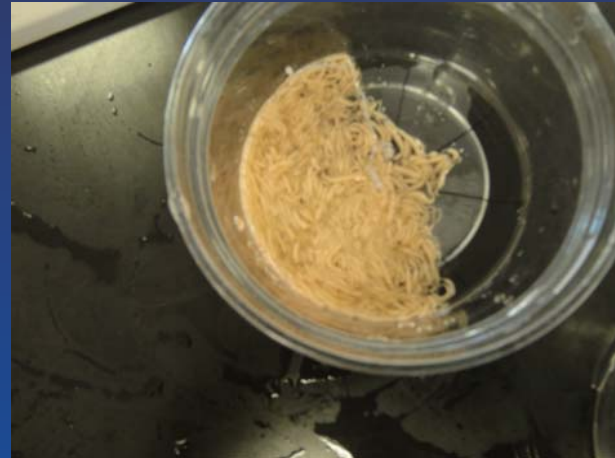


☆生殖器官

パツと見た感じラーメン
の麺のようでした。

☆キュビエ器官

かなりベタベタしていて、
手から離れませんでした。



4. 考察

- 磯に住む生き物は、敵から身を守るための、工夫がなされている。

